

# 令和5年3月 愛西市教育委員会 臨時会 会議録

開会日時 令和5年3月14日（火） 午前9時3分  
閉会日時 令和5年3月14日（火） 午前10時29分  
場 所 愛西市役所 北館2階 会議室2-1

■ 出席委員	教育長	平尾 理
	委 員	平野 英治 (所用により途中退席)
	委 員	杉方 南衣
	委 員	水谷 朋和
	委 員	大竹 節雄
■ 欠席委員	委 員	難波 知里
■ 説明のために出席した職員		
教育委員会	教育部長	三輪 進一郎
	教育部次長	小島 洋志
	学校教育課長	猪飼 政和
	学校教育課主幹	吉田 光男
	生涯学習課長	石田 泰弘
	スポーツ課長	伊藤 義幸
	学校教育課長補佐	坪井 靖史
■ 傍聴者	2名	

1 開会

2 教育長挨拶

3 議事

- (1) 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画素案について
- (2) その他

4 閉会

	<p>1. 開会 開会宣言する。</p> <p>2. 教育長挨拶 【教育長】 本日は早朝よりお集まりいただきありがとうございます。 3月議会真っ最中で、教育委員会側の議題がたくさん挙がっております。 本日は、愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画の素案作りということで協議していただくことになります。今月の後半にかけて地区説明会を実施しますので、根拠となるものをご協議いただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>3. 議事 【教育長】 (1) 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画素案について議題とします。事務局よりお願ひします。</p> <p>(学校教育課長補佐) (「計画の進め方」、「施策（案）」、「対案」より説明。)</p> <p>【教育長】 ご意見いただく前に私の方から訂正の提案をお願いします。 立田地区検討協議会内の対案の「②佐屋中学校を分断し、立田中学校と永和中学校の位置に2校配置」を「佐屋中学校を2つに分け、立田中学校と永和中学校の位置に2校配置」、八開地区検討協議会内の対案の「②佐織西中学校を分断し、八開中学校と佐織中学校の位置に2校配置」を「佐織西中学校を2つに分け、八開中学校と佐織中学校の位置に2校配置」に表現を変更したいと思います。どうでしょうか。 また、立田地区保護者アンケートは、現在集計中ですので、改めてお渡しさせていただきます。 計画の進め方の裏面にある基本計画の八輪小、開治小ですが、適正化検討協議と記載がありますが、適正化対策検討協議と変更してはどうでしょうか。 委員の皆様方、ご意見ござりますでしょうか。</p> <p>(委員) 計画の進め方裏面の基本計画を見ると、立田南部、立田北部は第1期に位置付けられていますが、八輪、開治小は第2期に位置づけされています。教育委員会から各家庭に配られている資料を見ると1歳、2歳の児童数、男女比の偏りを踏まえて考えると、適正化の一番必要な学校はこの2校だと思います。地区協議会にかかっていないという捉えもあり</p>
--	---

	<p>ますが、資料として提示されているものを見ると、適正化の対策をしていく必要が明らかでありますので、第1期に入れていただくのが妥当だと思います。</p>
(委員)	<p>現在、適正規模、老朽化の二つの項目で協議がなされていますが、そもそもその話をすれば、八開地区小学校の児童数が危機的な減少の仕方をしていると議会での質問、指摘からこの検討が始まりました。ただ、状況は変わらず、むしろ加速していることが統計の数字で出ています。</p> <p>1期、2期と8年のスパンで分けるのではなく、八開の2校に関しては、令和5年度から協議だけでも始めていく計画で、対策は協議が整い次第とし、時期で区切るのではなく、前に詰めた形で進めていかないと手遅れになっては何のための適正化の話し合いだったかとなります。反対される方もいると思いますが、待って見える方もいると思います。八輪小と開治小の協議は同時進行できる話だと思いますので、令和5年度から協議していただきますようお願いします。</p> <p>また、立田南部、立田北部小の老朽化対策は、佐屋中学校との統合後ではありますが、昭和30年代半ばのものです。計画通り進めば、校舎自体は2棟のうちの1棟になるかもしれません、校舎の半分は70年に近づきます。それでは、危機的な状況になってしまいますので、中学校が後と言いつつ、1期、2期の区切りを跨ぎながら考えていただきたいと思います。</p> <p>施策（案）について、「新たにA中学校（仮称）を現在の佐屋中学校の場所に配置する。」と表現を変更したと説明がありました。このことが、立田の住民にとって、単純に佐屋中学校に吸収されるという不安を解消された気がしています。ただ、資料を読み進めていくと、「立田中学校と佐屋中学校を統合し、佐屋中学校に配置する」と今までと同じような表現が残っているので表現を変えたなら全ての資料において統一していくべきだと思います。</p>
【教育長】	<p>「新たにA中学校（仮称）を現在の佐屋中学校の場所に配置する。」に統一するのであれば、例えば、佐屋中学校と立田中学校の統合校（仮称）で場所は佐屋中学校に配置としても分かりやすいと思います。</p> <p>八輪、開治小学校の適正化について、本来は第1期の優先度の高いものであります。ただ、市の適正化では中学校を着手せよということでありますので、地区検討協議会では小学校は少し横に置いておくべきとの意見があったのも事実であります。適正化検討協議の文字を第1期に記載はしますが、米印を打つとかであればよいと思います。</p>

	<p>私も今の資料を見ると、令和14年までそのままなのかと捉えられると思います。</p>
(学校教育課長)	<p>事務局から発言する内容ではないかもしれません、基本計画の表現に対策と検討協議がございます。</p> <p>八輪と開治であれば、検討協議は始めますが、施策としてはまだ固まっていないため、米印で検討協議と記載し、永和小学校であれば、老朽化対策と記載があるので対策がされると思われます。そこで、検討協議と対策協議の使い分けをすると整理ができると思います。</p>
【教育長】	<p>八輪小と開治小は第1期に適正化検討協議と記載します。</p> <p>私たちとしても地区協議会の意向を軽視することはできません。基本計画を策定するにあたり、市の協議会案をスライドするのではなく、地区協議会で話し合いをし、基本計画を策定する流れになっております。そのため、そのまま八輪小と開治小の第1期に適正化検討協議とするのは、一工夫が必要だと思います。</p> <p>実は、小学校の話も八開地区協議会で話が挙がったこともありました。市の検討協議会で中学校を優先せよと命題がありますので、小学校とリンクするのは中学校の方向性を詰めてから意見がありました。本来のあるべき姿にもっていくのはいかがなものかということで、一工夫しませんか。</p>
(委員)	<p>地区協議会を進めていく中で、前回いただいた資料に学校区ごとに生まれた子どもの数が出ております。資料を見れば、中学校が最優先という命題ばかりでなく、工夫というのは米印を付ける等のお願いができたと思います。</p>
(学校教育課長補佐)	<p>検討を進めなければいけない意思として示すのであれば、米印を打つことなどで、教育委員会として、今の状態が良くないと示すことはできると思います。</p>
【教育長】	<p>中学校が優先ということは、地区協議会でも分かっていただいていると思います。米印くらいはあった方が良いと思います。</p>
(委員)	<p>検討協議で話がまとまれば、すぐ対策が行われるという解釈で良いですか。</p>

(学校教育課長)	方向性が定まれば対策ができると思います。
【教育長】	恐らくですが、地区協議会の第2弾を開くと思います。 その他ございましたらお願ひします。
(委員)	<p>個人的な理由で時間がありませんので発言させていただきます。</p> <p>立田地区協議会内での対案に、「①佐屋中学校と立田中学校を統合し、現在の両中学校の中間地点に配置」がありますが、そちらに津島自動車学校東側農地辺りが該当とあります。課題には、用地取得が必要となり、用地取得、造成、道路水路の付け替え、ライフライン、運動場や体育館の附属施設について書かれております。</p> <p>私が聞いた中で津島自動車学校東側のあたりは、江戸時代の話をすれば、天王川と木曽川、正確に言えば木曽川支流の佐屋川の川底だったところです。佐屋小学校に行けば、小学校の始まりは、水田の中に造成をして木造の校舎が建ったのが最初であるような写真がありました。</p> <p>江戸時代から水田であったところと川底だったところの地盤の関係は分かりませんが、基礎を打つ深さには大きく違いはないかもしません。ただ、地下までの基礎になる地層の構成が、津島自動車学校付近や15号線沿いの地域は、昭和19年の東南海地震の際、液状化現象が多く目撃されたという証言があります。そのような危険な地域に、防災の拠点となるような中学校の施設を持っていくのは常識外れだと思います。</p> <p>また、道路水路の付け替えでは済まず、広い農道は整備されていますが、例えば、学校行事で観光バスが学校まで横づけできるまでの道路の整備をするにしても敷地がありませんので、道路を付け替えるだけではなく、道路の拡幅のための買収から始まります。</p> <p>土木課に確認していただきたいですが、佐屋地区の中でもあの一体の排水経路を確認してもらうと、日光川の排水域から海に排水されるのにあのあたりが水路の一番の始まりだと思います。水田の中の排水路なので良いですが、4haの面積を宅地に変えてくのは集中豪雨の際、短時間で降るような降水量をスムーズに日光川の排水域まで届けるような水路の整備ができるかというと、水路にも水路敷地の制限がありますので、流す水を増やそうと思えば、水路敷地の買収、拡幅、再整備が必要になります。今の中学校、小学校の敷地であれば、市役所南のゲノタ川の広い排水路の整備が数年前に終わったばかりですが、自動車学校付近では、ゼロから道路敷地、排水路敷地の買収をして始めていくようなところになります。</p> <p>自動車学校近辺は液状化現象、道路、水路の敷地不足、排水能力不足</p>

	が懸念される地区です。土木系の知識や情報は安全確保のための 1 つの大きな手段になると思いますので検討いただきたいと思います。
【教育長】	新たな視点からの提案でありました。敷地に関して A から Z まで考えると排水、インフラの在り方から様々な問題が出てきます。委員の発言も踏まえて、地質学的なこと、液状化のことを知っていきたいと思います。ありがとうございました。
(委員)	所用により、ここで失礼させていただきます。
	<委員退席>
【教育長】	その他よろしいでしょうか。
(委員)	施策 1 の施設に、「既存佐屋中学校校舎を調査し、大規模な改修あるいは改築の決定、必要な施設や設備の検討等を行い、その後、設計・工事を実施」とありますが、新築はあり得ないということですか。 施策 2 の施設に、「既存佐織西中学校校舎を調査し、改修方法の決定と必要な施設や設備の検討等を行い、その後、設計・工事を実施」とありますが、こちらは改修方法の 1 点のみで、新築あるいは改築の方法はありませんか。
(学校教育課長補佐)	施策 1 の改築について、改築が新築を指しております。新しく建て替えることを改築と使われておりましたので、新築と同じ意味合いで改築と記載しておりました。
(委員)	校舎全てが新築ではなく、残す部分があるかどうか。
(学校教育課長補佐)	部分的に残す可能性があるかどうかということですか。
(委員)	全新築ではないですよね。
(学校教育課長補佐)	調査の結果次第だと思います。 施策 2 について、佐織西中学校の老朽化の状況が IV と比較的老朽化が進んでいないと提言を受けております。老朽化対策検討委員会の提案でも改築、新築の言葉は無く、予防保全的に管理をしていくのか、あるいは、必要なところの修繕を行っていくということで、提言を参照して改

	修のみの表現としました。
(委員)	佐織西中学校の場合は、増築しなくても既存の建物でカバーできますか。
(学校教育課長補佐)	八開中学校と佐織西中学校、立田の一部の子が入れる教室は現在のところございます。ただ、今学校に求められている施設が教室だけでなく、多目的室等の新たに必要な設備を考慮し、面積が足りなければ一定程度の増築を検討することはあります。
<b>【教育長】</b>	<p>今後は基本計画をパブリックコメントを実施していくため、市民の皆さんに分かりやすい表現が良いです。新築と改築は同じ表現ということですが、イメージとして新築の方が良く感じます。</p> <p>その他ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>中学校の適正化に向けた進め方について、イメージとしては掴めていましたが、文書化されるとよりリアルになってきました。</p> <p>新たにA中学校（仮称）とするだけでもイメージが沸いてくると思います。佐屋中学校区に住んでいるので追い付かないところもありますが、全市的に考えることは大事だと思います。中学校の適正化もそうですが、小学校の老朽化を適正化と同時期くらいに進めていただきたいと思います。</p> <p>小学校のお子さんを考えると、半年でも早くスケジュールに入れられるのであれば、小学校のことも考えているという表れになると思いますので、同時ではないにしても基本方針が決まった段階で着手していただけたらと思います。ある程度の構想はできていると思いますが、より具体的にしていく時期は少しでも早い方が良いと思います。</p> <p>佐屋小学校の老朽化対策の話に戻ると、子どもの出生数は目に見えています。資料が手元にいけば皆さんも十分に認知できると思いますので、適正化の問題も併せて、老朽化対策に盛り込んでもらうと、より具体的に良いと思います。</p>
(学校教育課長補佐)	減築とかそのような表現ですか。
(委員)	必要な教室を充実させるようなことがよいと思います。佐屋西、市江小の子どもの数が減ることは見えているので、今後必要になる規模がもう少し適正化のところに加わると良いと思います。

(学校教育課長補佐)	事務局のイメージでは、必要となる規模はどちらかというと、減少をイメージしておりました。
(学校教育課長)	佐屋小学校のハード面の施策に、佐屋地区の他の小学校も含めるのはなかなか難しいところがあります。
【教育長】	<p>昨年度生まれた子どもが80万人を切るということは、その方たちが20数年後に生む子どもの数が少なく、合計特殊出生率がさらに減ることになります。そうした時に、少なくとも10年、20年後の愛西市の小学校は恐らく佐屋小学校以外は1クラスになり、社会集団として一定の規模が無いクラスになる可能性があります。その時に、そのままにしておくのはいかがなものか、中学校に上がってもそのままであることはどうなのかといったことから、八開中と立田中において、学識経験者等から中学校の課題を速やかに解消しないといけないということだったと思います。</p> <p>スケジュールについては、財政当局がどう判断するか分かりません。スケジュールを一人歩きさせないように慎重にやらなければいけません。これは愛西市だけではなく、全国的にどこでも同じようなことがあります。特に平成の大合併をしたところは非常に近いところに学校があったりします。愛西市にも18校ありますが、そのままというのではなくかと考えづらいです。若い世代については地区意識がなく、愛西市民という気持ちが大きいと思います。</p> <p>その他よろしいでしょうか。</p>
(委員)	スケジュールについて、施策1～3が同時スタートすることで担当して下さる方の大変さが予想されます。提案していただいた学校の新設、廃校については市議会の議決が必要になりますが、スケジュールで言うと、設計や施工の前に議会での決定がないと進めないと思います。その辺の位置がどのくらいにくるのでしょうか。
(学校教育課長)	今後、事業を進めていくにあたって、予算の確保が必要になりますが、予算を確保するためには内容が決まっていないといけません。条例の改正、学校配置等が必要になりますので、基本計画が固まった時点で条例の改正する時期を固めたいと思います。事務局として、遅くて困るのはありますが、現状厳しいと思います。

<p>【教育長】</p>	<p>子ども達の学びや育ちには、一定以上の子どもたちが必要だろうし、教育環境としてもこのまま放っておくのは良くないと思います。 その他いかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>施策 1 の学区の問題ですが、「B 中学校への進学を希望する場合は、B 中学校へ進学できる。」は、今、行っている就学校の変更を認めるということでおろしいですね。</p>
<p>【教育長】</p>	<p>そうです。 現在も南川並地区は草平小学校の方が近いです。それをストップするということではありません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>従来出ていた選択制の言葉を使うといろいろな問題が出てくると思いますが、今の制度の中であれば可能かと思います。</p>
<p>【教育長】</p>	<p>選択制は今から 20 年程前に導入されましたが、選択制から学区制に戻りつつあるところが多いです。選択制の始まりは、三重県紀宝町でスタートしましたが、公共交通機関の発達がある都市部が多いです。選択制については、5つほどパターンがあります。 選択制は、地域が分断、寸断されるようなデータもあります。基本は自分たちの地域の学校が前提にあるならば、学区制であるのではないかという動きもあります。私たちとしては協議をしながら進めていきたいと思います。 南川並の地区については、学区制で申請を出してもらいます。 その他よろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>計画を立てていらっしゃるので、なるべくスピード感を持ってやっていただけたらと思います。</p>
<p>【教育長】</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>迅速に進むと良いと思います。</p>
<p>【教育長】</p> <p>(学校教育課長)</p>	<p>事務局から何かございませんか。 愛西市の給食センターの運営方式が、令和 8 年度で一区切りで、次を考える時期になっております。愛西センター、八開センター、佐織は自</p>

	<p>校式ですが、計画が進むと給食センターが送り出す学校数が減ってきます。実際にどこの学校に給食センターを置くか、自校調理方式の学校の給食室をどうするかを併せて考えていかないといけません。愛西センターであれば、立田中学校と佐屋中学校の2校に送っていますが、統合されると、送り出す学校が1校減ります。立田北部と立田南部小学校が統合されると、送り出す学校が2校減ることになります。</p> <p>給食センター自体は給食を作るキャパはありますが、送り出す数の変更が難しいです。</p> <p>八開センターは3校に送り出しておりますが、八開中と佐織西中学校が統合されると、八開センターは2小学校に送り出すことになります。八開中学校の代わりに佐織西中へ送り出すことはできますが、2校分をどこかに送れば自校式の給食を減らせるという案も出てきます。</p> <p>また、愛西センターは比較的使えますが、八開センターは少し老朽化が進んでいます。その点を含めて考えると、愛西センター1か所で全校分は難しく、検討が必要になってきます。佐織の自校調理方式も給食室自体の老朽化が進んでいるので、給食室を存続させるか、あるいはセンター方式に切り替えるのか今後併せて考えていく必要があると思います。時期を見て相談させていただくと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
【教育長】	
(学校教育課長補佐)	<p>進めていく上で、やらないといけないことがたくさんあります。</p>
【教育長】	<p>立田地区、八開地区検討協議会内での対案を地区説明会で参加された方にご紹介する予定です。案がある中で、教育委員会として施策の案を採用し、承認していくことを伝えていこうと思いますがよろしいでしょうか。</p>
(学校教育課主事)	<p>立田地区保護者説明会では立田地区委員アンケートの紹介はしましたか。</p>
【教育長】	<p>そうです。</p>
	<p>保護者説明会と地区説明会では対象が異なりますので、委員アンケートを配付し、立田地区保護者アンケートの集約結果を報告します。立田地区保護者アンケートを確認したところ、個人や学校に対する誹謗中傷等の公にできないものがありましたので、ホームページからは外させていただきますのでよろしくお願ひします。</p>

	<p>(1) については閉じさせていただきます。</p> <p>(2) その他について何か事務局からございますでしょうか。</p> <p>『事務局説明等無し』</p> <p>【教育長】</p> <p>(教育部長)</p> <p>他に議題もないようですので、以上で議事を終わりたいと思います。</p> <p>次回定例教育委員会は、令和5年4月3日（月）10時から辞令交付式、その後に教育委員会がございますのでよろしくお願いします。</p> <p>4. 閉会</p> <p>閉会宣言をする。</p>
--	---